

# 国会議員の仕事がスタート

国会議員としての初登院は、梅雨明け直後の猛暑日の8月1日でした。天皇陛下御臨席のもと第199回臨時国会が開会され、さすがに初日は緊張の連続でした。恥ずかしげもなく正直に言いますが、普段テレビで見ている国会議事堂、国会議員や大臣などを目の前にして、いったいこれは現実なのか、夢なのか？ 不思議な気分でした。

さて、10月4日に始まった第200回臨時国会では、経済産業委員会に所属することになりました。経済、エネルギー、中小企業政策な

どテーマは多岐にわたりますが、私の最初となる委員会での質問は、経済産業大臣に対して地方創生などをテーマにした質疑をおこなう予定です。大分で仕事をしているときに、一市民として感じた疑問や違和感を率直に伝えます（この原稿を書いている時点では、まだ委員会が開かれていません。あらためて詳細を報告します）。

私は永田町の論理に巻き込まれるのではなく、軸足を地方や現場にしっかりと置いて、国の政治や行政をチェックしていきます。大事なことは、国民、県民の皆さまの普通の感覚です。



参議院議員会館の事務所にて



初登院でメディアの取材



沖繩基地問題関連の勉強会にて



私の登退院ボタンは一番先頭



障がい者所得関連の勉強会にて



国会議事堂の本会議場前にて

## 当面は無所属で活動

政党や会派にはまだ所属していません。完全無所属です。政治に緊張感をもたらすには、与党に対する強い野党の存在が必要です。私も積極的に協力していきたいと考えます。

しかし今は、国会議員としての仕事は始まったばかりで、分からないことが多い状況です。分からないなかで早計にものごとを決めるのでは



選挙後の支援団体へのご挨拶



蒲江の水産加工所の皆さんと



毎年参加の地元での盆踊り大会



宇佐で支援者の皆さんと



国東の農村レストランで



地元事務所で支援者の皆さんと

なく、焦らずにまずは研鑽を積み、人脈を広げ、しっかりと「足腰を鍛える」ことに注力したいと思えます。週末には大分県に戻り、地域活動に積極的に参加させていただいています。これからも地元大分の皆さまと直接触れ合い対話する機会を最も大事にしていきます。

岸 達 清